

日本画家

坂上楠生



1947年 三重県伊勢市出身
 1975年 東京芸術大学美術学部油画専攻卒業
 1982年 福岡市美術館にて初個展
 1982年 西武百貨店池袋店にて個展開催
 1985年 新聞連載小説「花の降る午後」(宮本輝)挿し絵担当
 1985年 西武百貨店池袋店にて個展開催
 1986年 大阪 ロイヤルホテルにて「夕風の情景」シリーズ発表
 1987年 東京富士美術館にて「坂上楠生展」
 1994年 新聞連載小説「人間の幸福」(宮本輝)挿し絵担当
 1995年 個展(新宿三越)「人間の幸福・さし絵展」

1995年~ 各地で日本画個展
 2000年 新聞連載小説「約束の冬」(宮本輝)挿し絵担当
 2002年 福岡日動画廊「約束の冬・さし絵展」
 2004年 新聞連載小説「にぎやかな天地」(宮本輝)挿し絵担当
 2005年 大阪 AG尾山「にぎやかな天地・さし絵原画展」
 2006年 兵庫 AGマルイ「にぎやかな天地・さし絵原画展」
 2007年 秋田 ギャラリー杉「坂上楠生日本画展」
 2007年 東京 上野(美遊居きたがわ)「坂上楠生日本画新作展」
 2008年 大阪 追手門学院大学『宮本輝ミュージアム』にて「さし絵からひろがる宮本輝の世界～坂上楠生展～」

公式ホームページ <http://www.nanseisakagami.com>



代表作《秋苑図》(軸物) 1988年



代表作《日月春秋図屏風》(春) 1979年



《二千年蓮》2007年

「大和絵」

「大和絵(やまとえ)」という言葉の由来は中国の「唐絵(からえ)」(水墨画)に対して、平安時代国風化の波にともない、日本的な線描彩色画を「やまと絵」と呼ぶようになりました。「漢詩」が中国の詩で、「和歌」が日本の詩という区別と似たものです。初めは貴族社会から生まれたやまと絵ですが、江戸時代以降には武士階級にも用いられ、さらに商人、町人など庶民にもささげられ、まさに国民的な指示を得た、美のジャンルと言えるでしょう。

私の大和絵を見た人々に、元気が喜び、夢と希望を与えていける画家になりたい、それが私の夢と希望なのです。
 (坂上氏HPより)